

<牧会ミニ通信>No.39 2021. 2. 14.

わたしの妻は高校一年の頃、日本基督教団「姫路福音教会」で信仰告白しました。山口に移り住んでからも、日本基督教団「山口教会」の礼拝に出席しておりました。わたしも防府聖書教会の奉仕が一段落した時から、共に出席するようになりました。

明治15年創立という、市内で一番古い教会です。旧日基の教会らしい伝統と格式を感じます。講壇は、一段高い講堂風です。何代にも信仰継承を受けてきた信仰者の多くと出会いました。

礼拝は10時に始まり、11時に終了します。ご主人を自宅に残して、礼拝に出席している婦人たちへの配慮といえます。

ところが、短期間に牧師がたびたび変わりました。詳しい背景は分かりませんが、しかし、牧師不在となった時、長老会から説教奉仕を依頼されましたが、わたしは日本基督教団の教師資格を持ち合わせていません。にもかかわらず、わたしが長老系の神学校で学んだことから説教奉仕が許されたようです。説教といえば福音書に終始していた教会です。それでわたしは、旧約聖書から説教することを心がけました。すると、「はじめて旧約の説教を伺いました」、「旧約聖書からも説教できるのですね」などという感想には驚きました。

牧師の交代は、群れ全体に深い憂いを与え、教会の体力を著しく削ぎます。しかし、教会歴140年です、おそらく、数々の試練一、浮き沈みや風雪に耐えてきた教会とすれば、そこには風格すら感じました。

「御子の血で贖いとられた神の教会」(使徒の働き20:24)。

「黄泉 の力もそれに打ち勝つことはない」(マタイ16:18)。

「わたしは、ダビデの若枝また子孫であり、輝く明けの明星である。御霊も花嫁も共に言った、きたりませ。また、聞く者もきたりませと言いなさい」(黙示録22:16-17)。

周東のぞみキリスト教会：牧師 結城 晋次